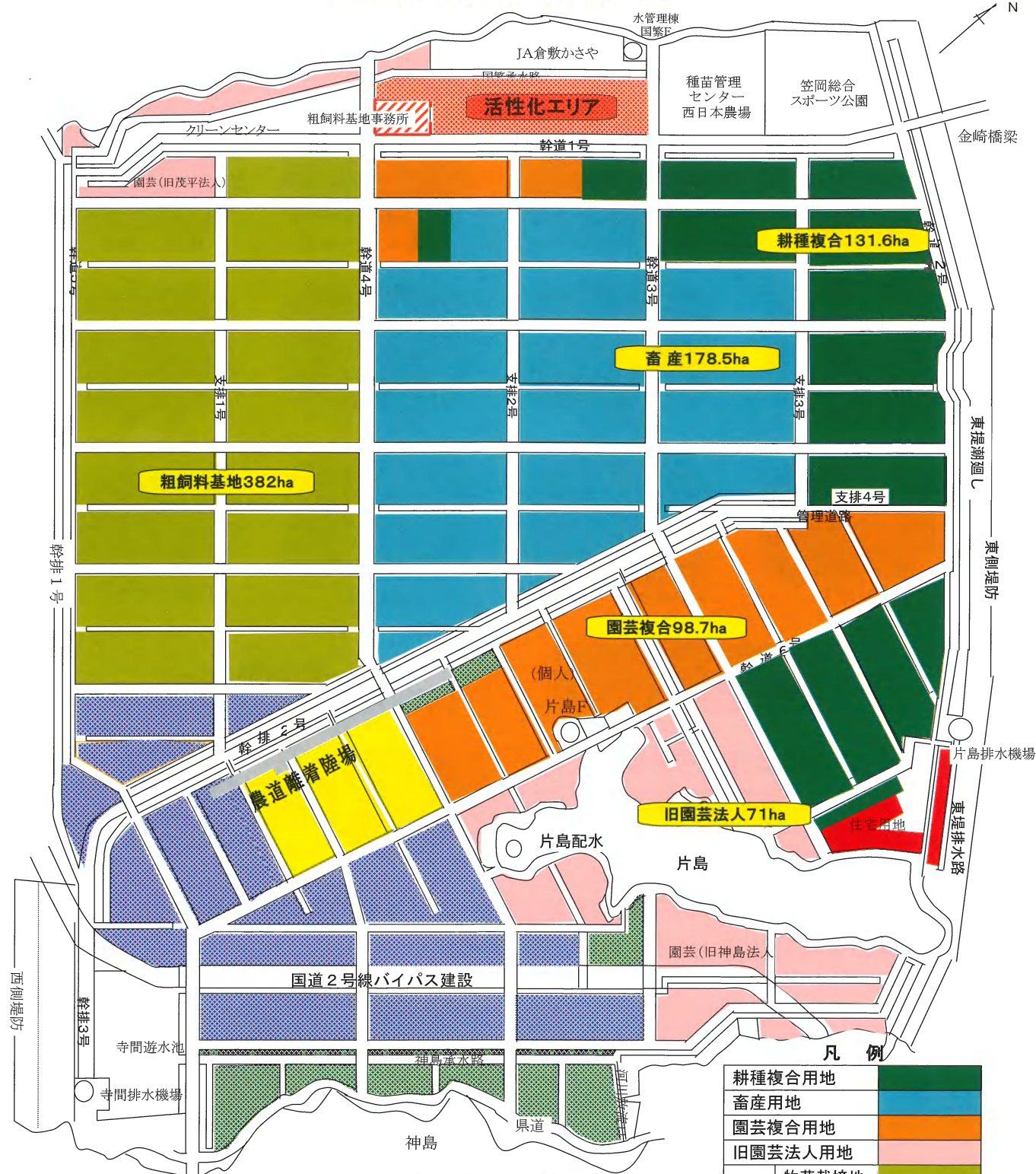


べいふあーむ笠岡 土地利用区分図



凡例

耕種複合用地	
畜産用地	
園芸複合用地	
旧園芸法人用地	
牧草栽培地	
基地事務所	
粗飼料 活性化エリア	
基地 菜種・ひまわり	
貸付(コントラ)	
貸付(公募)	

このパンフレットは、(財)地域総合整備財団〈ふるさと財団〉の助成事業として作成したものです。

お問い合わせは
笠岡市建設産業部 産業振興課(陸援隊)
TEL 0865-69-2143
〒714-8601 岡山県笠岡市中央町1番地の1



農業振興と多目的利用による地域の発展



夢と希望の大地

笠岡湾干拓地

笠岡湾干拓地のあらまし

笠岡湾干拓の歴史は、江戸時代の新田開発に始まり、約300haの土地が造成されて、現在の笠岡市街地の母体をなしています。その後昭和33年に造成された105haの旧笠岡湾干拓地(富岡)は、今では大きく変貌を遂げ、番町地区の新しい市街地が形成されています。

こうした背景の中で、笠岡湾干拓地は国営事業として岡山県と日本鋼管(株)(現JFEスチール(株))が行う、笠岡臨海工業用地造成事業と共同で実施され、笠岡湾の海面 1,811haのうち、1,651haを堤防で締切り、農業用地として 1,191ha及び工業用地として 460haを造成し、残る海面160haは港湾水域とする多目的干拓事業となりました。

◎総事業費 約300億円(農業用地関係分)

◎事業期間 昭和41年12月～平成2年3月

また、干拓地の用水を確保するための導水事業は、水源の高梁川から延長24kmの水路により水を導き、沿線市町の工業用水及び上水道用水を一緒に取水する多目的事業であり、島しょ部を含む笠岡市全域へ上水が供給され、慢性的な水不足から解放されることとなりました。

このように笠岡湾干拓事業は、広大な農業用地を造成して、畜産と畑作による大規模自立農家を創出し、農業振興を図るばかりでなく、地区周辺の工業基盤や市民の生活基盤の整備にも大きく貢献する総合開発事業となりました。

夢と希望の大地

笠岡湾干拓地農業用地の内訳

全体面積 1,190.8ha	配分用地	入植・増反農地	486.3ha	耕種複合用地	131.6ha
	907.0ha	粗飼料基地	382.0ha	畜産用地	178.5ha
	他転用地 (運動公園等)	種苗管理センター	20.3ha	園芸複合用地	98.7ha
	36.6ha	農道離着陸場	5.1ha	旧園芸法人用地	71.0ha
	土地改良施設 (堤防・排水路等)	営農施設(JA)	10.5ha	その他施設用地	6.5ha
	247.2ha	公共施設(笠岡市)	2.8ha		

笠岡湾干拓地の主な農産物

干拓地では、資源循環型畜産と野菜の露地栽培・園芸作物や花きなどの施設栽培が大規模に行われています。



いちご



バラ・ラークスパー



小麦・ビール麦



乳牛・肉牛



なす



たまねぎ



だいこん



牧草



いちじく



ブロッコリー・キャベツ



にんじん



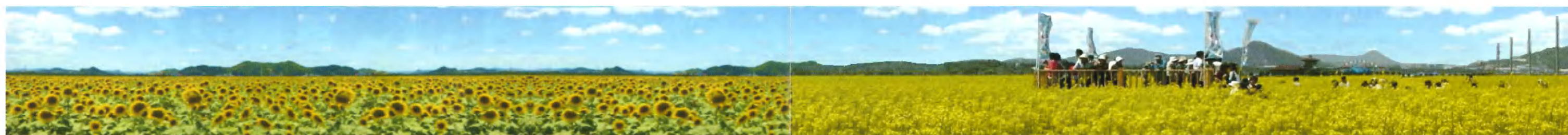
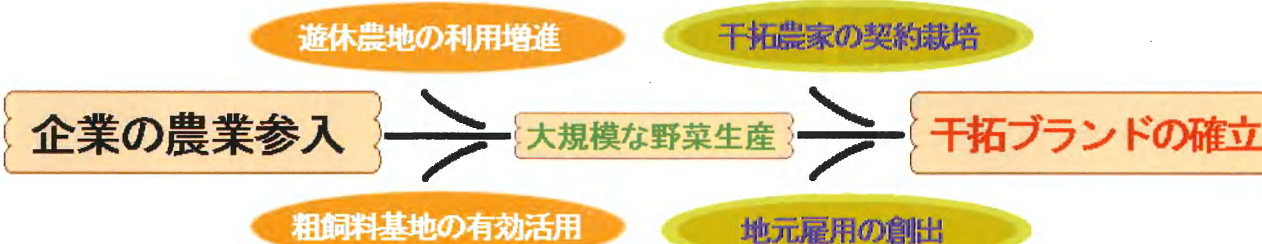
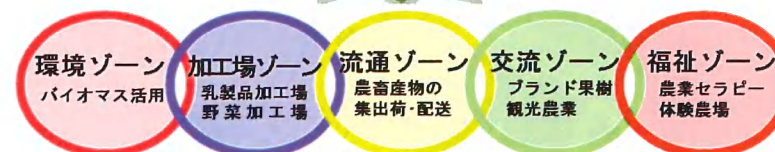
飼料用トウモロコシ

笠岡湾干拓地の活性化に向けて

干拓農業の総合産業化

笠岡市は干拓地北側に活性化エリアを設定して、農業関連産業の誘致をめざしています。

また、遊休農地や粗飼料基地の一部を民間企業や干拓コントラ等に貸出すなどして、多目的利用を促進することにより、干拓農業の振興と地域の発展をめざしています。



農道離着陸場(ふれあい空港)周辺では、春に3千万本の菜の花、夏は百万本のひまわりが咲き誇り、それぞれに合わせたイベント開催が干拓地の恒例行事として多くの市民に親しまれています。